

【出題意図】

この問題は、特に服装の選択や子どもの装いを題材に課題文を与えている。

課題文では、「装い」や「おしゃれ」というキーワードをもとに述べられており、本文を踏まえて、自らの経験や身近な事例に思いを巡らせ論述することを求めている。

課題文では子どもの装いについて述べられているが、解答の内容はそれに限らなくても良い。

問いでは「理解力」「思考力」「論理性」「表現力」を評価する。課題文の説明を理解した上で、自分自身の日常に視点を向け、その中から自分の考えを説明する論拠を明示し、正確な表現で説明を展開することを求める。

【採点基準】

以下を採点の基準とする。

- ・ 課題文の内容を理解しているか。
- ・ 日常生活や身の回りに関心をもって事例があげられているか。
- ・ その事例をもって自分自身の考えを導きだせているか。
- ・ 自分の考えを述べるための論拠は適切か。

(以下は一般的な項目)

- ・ 文字数は要求範囲内か。
- ・ 適切な語彙を用いて正しい文章表現ができているか。
- ・ 原稿用紙の使い方や表記に誤りがないか。

問 1 解答例

装いの心理的・社会的機能は 2 つに分けることができるとしており、1 つは「整える装い」としての「身だしなみ」であり、もう 1 つは「飾る装い」としての「おしゃれ」とであると説明している。(総文字数 88 文字)

問 2 解答例

おしゃれは、社会の枠を意識しつつ、その中で自分らしさを探して表出していくために使うツールであり、自分がどのような人間になりたいのか、どのような人間であるべきかを探る重要なものである。(総文字数 91 文字)

問 3

個別の解答が予想されるため、解答例は示さない。

(採点の基準)

- ・ 課題文の内容を理解しているか。
- ・ 日常生活や身の回りに関心をもって事例があげられているか。
- ・ その事例をもって自分自身の考えを導きだせているか。
- ・ 自分の考えを述べるための論拠は適切か。

【出題意図】

食を通して健全な心と身体を培い、豊かな人間形成を育むことに関する課題文について、食の専門を志す受験生の「知識・技能」、「思考力・表現力」を問う。（選抜方法と学力の3要素より）

これまでの学校教育において、文部科学省が定める「学校給食を中心とした食に関する指導」を受けてきた受験生には、本課題文に対する理解は十分可能であると判断する。かつ、本課題文に対する理解は本専攻を志す上で、必要な資質である。

問1.

提示された課題文およびグラフを適切に理解し、文章で簡潔にまとめられる「知識」と「思考力」を評価する。（知識，思考力）

問2.

提示された課題文について、これまでの自身の体験と結びつけ、自分の考えを示す技能および思考力を評価する。さらに、誤字、脱字等に留意し、丁寧にわかりやすく伝えられる表現力を評価する。（知識・技能，思考力・表現力）

【採点基準】

問1.

- ①グラフから2023年の結果を読み解き、説明できている（数値で表現されている）
- ②2022年の結果との比較がされている（数値で表現されている）
- ③文章で的確に表現されているか。
- ④字数制限を守っているか。
- ⑤誤字脱字がないか。

問2.

- ①自身の食生活について触れているか。
- ②食品ロスや、物価高騰など現代の食問題に触れているか。
- ③自分の考えが明確に表現されているか。
- ※野菜摂取量増加のための方法や手段が論述されているか
- ④540字（9割）以上～600字以内で書かれているか
- ⑤誤字脱字がないか。

【解答例】

問 1

2023 年の結果では、1 日あたりの野菜摂取量の平均値は、**男性が 262.2g、女性が 250.6g**であり、2022 年の結果と比較すると、**男性では 15.6g、女性では 13.3g減っていた**。特に女性では目標値より 100g 近く下回っていた。(92 字)

問 2

個別の回答が予想されるため解答例は示さない。